

都城との交流

7月7日、都城市で行われた「みやこんじょ七夕まつり」に参加しました。都城市とは歴史的つながりから、これまでお互いのイベントなどに参加し合い、七夕まつりについても物産展や無料竹細工教室を実施しており、毎年竹細工に夢中になる子どもたちで賑わっています。

また、かぐや姫も毎年同行しており、今年も浴衣姿で宮之城のPRを行いました。



「宮之城をPRする」かぐや姫

自治公民館活動

7月10日、七夕作りと飾り付けが船木区改善センターで行われました。これは、いろいろな行事などを通して子どもの生きる力を育む目的で始められたものです。

子どもたちは、折り紙をうまく使って自分の気に入った飾りを作り、楽しそうに竹に飾り付けをしました。

今後船木区では、公民館を開放しての子ども向け行事がいろいろ計画されています。



楽しそうに飾り付けする子どもたち

道路清掃に協力

7月14日、日本特殊陶業(株) 社員の方(約30人)が田原の工場前町道の草刈りや空き缶拾いなどの清掃を行いました。

草刈り機を持った同工場の社員は、町道の長く伸びた草を丁寧に取り切っていました。

同工場は、町で取り組んでいる「ろまんちつく街道クリーン作戦」道路等の里親制度」にも登録され、毎年2、3回程工場周辺の町道清掃を実施されています。



町道がきれいになりました

百歳おめでとう

7月11日、餅原シズさん(西手東公民会)が百歳になりました。

餅原さんは、若い頃は好き嫌いがなく何でもよく食べ、氣丈夫で病氣もあまりされなかったとのこと。

現在は、病院で寝たきりの状態ですが、本を読んだり歌を歌ったりして元気に過ごされています。

なお、町内で百歳以上の方は8人おられます。

すこやか長寿社会運動

推進協力員

小松園静子さん(ほたる公民会)が、「すこやか長寿社会づくり運動」の浸透・普及を促進するための推進協力員として、鹿児島県知事から委嘱されました。任期は、平成16年4月1日から平成18年3月31日までの2年間です。

皆さん、ご協力をお願いします。



小松園推進協力員